

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名: 西川 昌宏

事業名	重要物流道路 一般国道486号 <small>しんいちふちゆう</small> 新市府中拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	広島県	
起終点	自: 広島県福山市新市町戸手 至: 広島県府中市中須町			延長	3.4km	
事業概要 一般国道486号は、備後圏域の東西軸を形成し、広域連携の強化や物流効率化などに寄与する重要な路線であり、府中市や福山市においては、福山市中心部や山陽自動車道福山東IC、重要港湾福山港等へのアクセス道路となる路線である。また、平成31年には国において物流上重要な道路輸送網として、「重要物流道路」として指定を受けたところである。 本事業区間においては、慢性的に交通渋滞が発生している状況であり、交通の円滑化や交通安全の確保、中国横断自動車道尾道松江線等へのアクセス向上、災害に強い道路ネットワーク構築等のため、早急な整備が必要である。						
H9年度事業化		H8年度都市計画決定 (H27年度変更)		H12年度用地着手		
全体事業費		約264億円		事業進捗率	約63%	
計画交通量		22,100~45,800台/日				
費用対効果分析 <small>(参考)</small>	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 76/373 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 249/442 億円	
	1.2	4.6%	(事業費: 73/370 億円)		(走行時間短縮便益: 231/411 億円)	
	1.8 [2%]		(維持管理費: 3.0/3.3 億円)		(走行経費減少便益: 18/27 億円)	
	2.3 [1%]		(更新費: -/- 億円)		(交通事故減少便益: 0.09/3.2 億円)	
	(残事業) 3.3	(残事業)	(事業全体)		(残事業)	
5.2 [2%] 6.9 [1%]	11.5%	感度分析	交通量	B/C=1.1~1.3(±10%)	交通量	B/C=3.0~3.5(±10%)
			事業費	B/C=1.2~1.2(±10%)	事業費	B/C=3.0~3.6(±10%)
			事業期間	B/C=1.1~1.3(±20%)	事業期間	B/C=3.0~3.6(±20%)
事業の効果等 ・府中市中心部から山陽自動車道福山東ICとのアクセス向上が図られる。 ・災害時の第一次緊急輸送道路としての機能向上が図られる。						
関係する地方公共団体等の意見 福山市より、本路線は、沿線市町の広域的な連携や物流面において重要な役割を担うとともに、中国横断自動車道尾道松江線や山陽自動車道へのアクセス道路として広域的な経済圏・生活圏の形成のために不可欠な道路であるとして、早期完成に向けて着実な整備を要望されている。						
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない						

事業の進捗状況、残事業の内容等

用途進捗率約69%、事業進捗率約63%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

橋梁架設方法の見直しや用地進捗の遅れにより長期化しているが、これまでに中須工区が平成29年度に供用、戸手工区が令和3年度に供用しており、残る新市工区についても、引き続き計画的に事業を進めていく。

施設の構造や工法の変更等

新市工区の橋梁や擁壁等において、プレキャスト製品使用の検討を実施し、工期短縮等によるコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

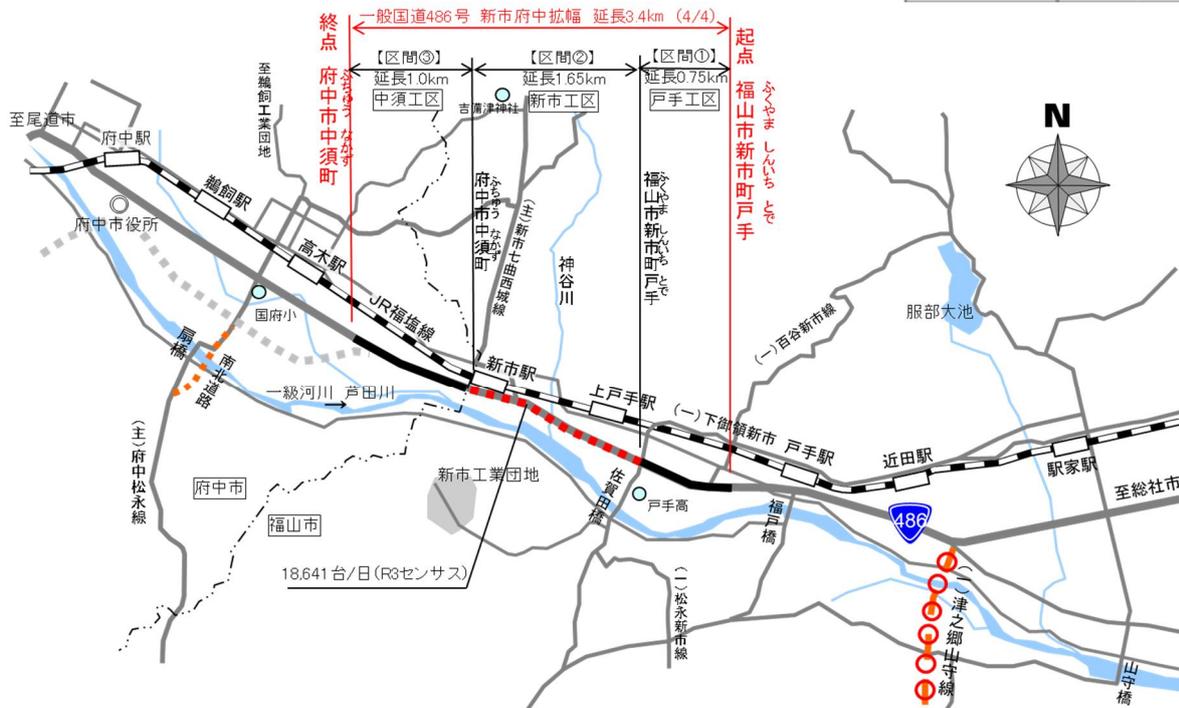
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図

位置図



凡例	
供用済	——
事業中	●●●●●●
調査中	□□□□



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)